



大阪北ブロック 吹田支部
摂津電気工事(株) 高田 貴士

吹田の玄関口 旭通商店街

吹田市は、総人口369,898人（男177,846人・女192,052人・168,488世帯 ※2016.12.31現在）が暮らす都市です。

JR吹田周辺といえば、100年以上の歴史のあるアサヒビール発祥地、アサヒビール吹田工場が有名です。しかし吹田市民にとっては、商店街が最もにぎわっている場所として知られています。旭通商店街・新旭町通り商店街・錦通商店街・栄通り商店街・片山商店街などがあり、その代表的な商店街が、『旭通商店街』です。



旭通商店街の歴史

1924年（大正13年）JR吹田駅（旧国鉄吹田駅）駅前商店街として50店舗程度で発足以来80年が経過。翌年（大正14年）旭通商店街と命名（昭和29年）、旭通商店街協同組合として組織化され、以来50年が経過。昭和34年、西側の建築が完成し現在の道幅となりました。昭和49年、旧東西アーケード完成。平成14年、現アーケード舗道改築完成、現在に至ります。



約600mの道路沿いに100以上の商店が立ち並ぶ地域最大級の商店街。大正時代から商店が賑わうこの地は、旭日昇天の発展をめざして旭町と名付けられました。飲食料品店（27店）、衣料品・身の回り品（11店）、飲食店（17店）、サービス業（26店）、金融機関（6店）、その他の事業（5店）で構成されています。

アーケードに駐輪スペース、車道側には駐車スペースを設け、舗道はバリアフリーにし、近年CO2削減のため街路灯をLEDダウンライトに交換。さらに日本一の長さ（1,000m）をほこるドライミストが設置され、太陽光パネル設置と防犯カメラ（45台）、飲食店向けにバル開催と、とさまざまな取り組みをを広げ、安心安全な商店街・愛される商店街づくりを実践してきています。



吹田まつり

旭通商店街の一大イベントといえば、吹田まつりです。前夜祭（江坂・南千里）・本祭り（JR吹田）があり、本祭りでは全長600mの旭通商店街を各種団体・自治会がパレードするという催物があります。消防音楽隊・ダンス・よさこい・武道演舞・地車（だんじり）などの内容で、約40団体がパレードします。

その中でも各自治体の催物である地車（だんじり）が毎年注目を浴びています。私も地車に参加しているのですが、恥ずかしながら最近まで読み方を知りませんでした。吹田市指定有形民俗文化財に指定されており、天保10年（1839年）に建造されたものもあります。



最後に

旭通商店街は、1924年発足から利用者のために時代に合わせて発展してきました。バリアフリー・太陽光発電・ドライミスト・LED化・吹田バル開催など。しかし、吹田まつり・地車などの守るべき伝統は長年守り続けてきました。時代へ適応するための新しい取り組み、時代が変化しても守るべき伝統、この2つの融合がこの旭通商店街の発展し続けている要因ではないかと考えています。これは、企業においても同じであり学ぶべきことではないかなと感じました。